

# 生産性向上を図るための取組み

## ICT機器の活用と業務改善

### 目的・背景

生産性向上の取組みにおける目的と背景

- 目的** ◇生産性向上、合理化の取組みを通じて、利用者の生活の質を向上させる。  
◇ 職員の業務負担を軽減し、合理化を進めることで利用者に関わる時間を増やし、職員への利益還元を図る。
- 背景** ◇ご利用者に質の高いケアを届けるため業務、プロセスの効率化(業務の平等化、通信機器の導入)の必要性を感じたため。

### 取組みプロセス

平成30年から行ってきた生産性向上の取組み

#### 課題の明確化

- ◇業務の見直し(タイムスタディ実施/慣例化見直し)
- ◇超過勤務、どの業務に時間が掛かっているかの見直し
- ◇手順書の作成(マニュアルを含む)

#### 改善への体制整備

- ◇必要な物品の準備(万歩計、タイムスタディツールなど)
- ◇環境作り
  - ・ペーパーレス化
  - ・転記禁止(リアルタイムに情報共有を図るため)
  - ・研修システムの導入  
(隙間時間で各自視聴できる、各部署で開催していた内容の統一を図るため)

#### 改善効果の評価

- ◇改善部分の見える化
- ◇成功体験の積み上げ

### 取組み実績

項目	内容
導入したシステム・技術	・Wi-Fi環境整備・Bluetooth対応バイタル測定機器 ・電子ケース記録システム(平成24年から導入) ・スマートフォン導入・音声入力ソフト・インカム・ベッドセンサー
業務改善	・業務の分業化(直接ケア/間接ケア) ・リネン交換の簡便化(ボックスシーツ/タオル類のリース化) ・勤怠管理のクラウド化 ・会議の削減、オンライン会議の推進、会議録の簡略化(次第、会議録を同一のものに) ・3M5Sの洗い出し、業務の最適化
その他	・スマートフォンや電子媒体の活用による家族との連絡(MAIL/LINE) ・夜勤時間の見直し(16時間夜勤から10時間夜勤へ) ・週休3日制の一部導入

### 導入機器



音声入力ソフト



ベッドセンサー



電子ケース  
記録システム



バイタル機器  
bluetooth対応



インカム